

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
花王株式会社	代表取締役社長執行役員	澤田 道隆	東京都	製造業	https://www.kao.com/jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2019年6月24日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	① 物流の改善提案と協力	・物流事業者から、荷待ち時間や作業内容に関する要請や、運行管理上の合理化等の相談があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	② 予約受付システムの導入	・2018年に一部拠点に導入したトラックの予約受付システムを積極的に拡大し、荷待ち時間を短縮します。
3	A	④ 発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者の準備時間を確保するため、出荷情報等を早めに提供します。
4	A	⑥ 集荷先や配送先の集約	・トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から集荷先や配送先の集約について相談があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
5	A	⑦ 運転以外の作業部分の分離	・車上渡しを徹底し、運転者の作業負荷軽減に取り組めます
6	A	⑩ リードタイムの延長	・トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。 ・着荷主として幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。
7	F	① 土曜・祝日の輸送	・土曜・祝日の輸送依頼を縮小し、物流事業者の労働時間の短縮に取り組めます。
8	F	② 台数早期確定	・出荷日前々日の輸送依頼に努め、物流事業者が余裕を持って適切な配車ができるように取り組めます。

PR欄	<p>①1970年代から一貫パレチゼーションを導入。軽量で嵩張る商品の長距離輸送以外はパレット輸送を実施。 ②1990年代から、入荷拠点に車両単位の入荷予定情報をデータ連携し検品作業時間の短縮を実現。 ③2003年から燃油サーチャージを導入。長期契約ルートについては軽油、重油の相場に合わせて年4回の見直しを実施。 ④イオン様と共同輸送を実施(2014年～:東京-九州間を鉄道コンテナ往復利用、2016年～:東京-中部間をトラック中継輸送) ⑤2018年度モーダルシフト化率は50.1%を実現。(https://www.kao.com/jp/environment/lca/10/)</p>
-----	---